

「フィデリティ・世界割安成長株投信」を活用した 積立投資のご提案



愛称 **テンバガー・ハンター**
TENBAGGER HUNTER

フィデリティ・ 世界割安 成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)
Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

2025年1月



「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

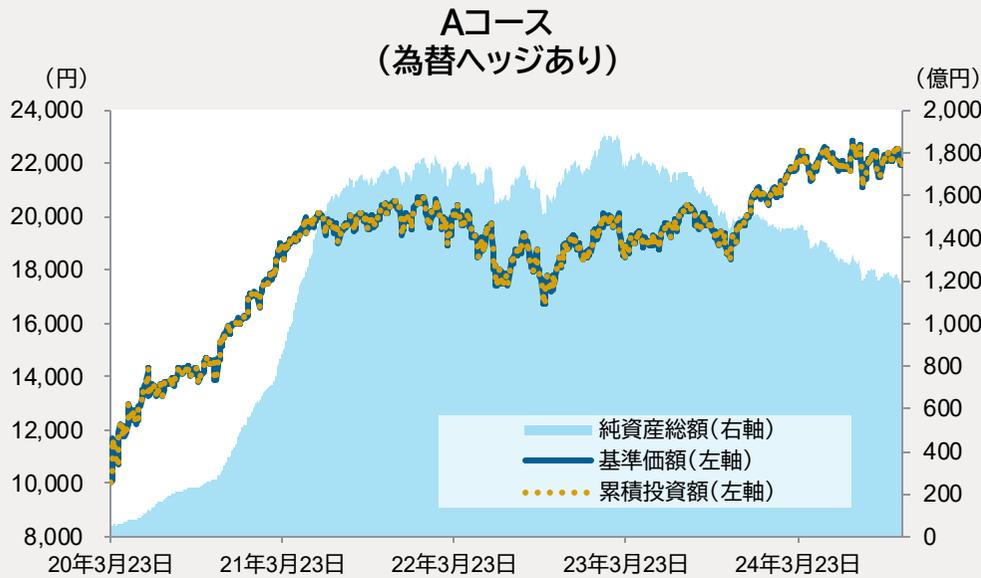
設定・運用は

フィデリティ投信株式会社 

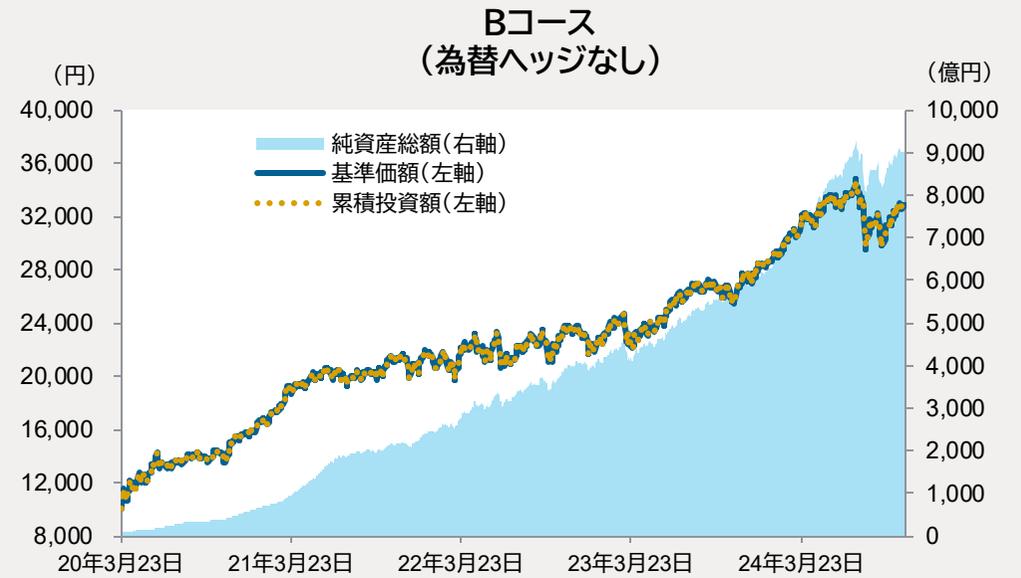
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第388号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの運用実績

フィデリティ・世界割安成長株投信 基準価額、累積投資額、純資産総額の推移 (2020年3月23日(設定日)～2024年10月31日)



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの 累積リターン	-2.98%	-0.30%	18.44%	9.03%	119.76%



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの 累積リターン	-1.18%	0.24%	28.34%	55.84%	228.62%

※ 基準価額は運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※ 累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

フィデリティ・世界割安成長株投信 (愛称 テンバガー・ハンター) の魅力

- ◆ 30年を超える優れた運用実績を日本へ*
- ◆ 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘
- ◆ フィデリティが世界に展開する企業調査



共同運用主担当者

当ファンドの
運用担当チーム



モーガン・パック
(運用調査経験: 2003年~)



サム・シャモビッツ
(運用調査経験: 2002年~)

共同運用担当者



サリム・ハート
(運用調査経験: 2007年~)

ジョエル・ティリングハスト**
(ピーター・リンチから薫陶)

テンバガーを発掘し投資する運用担当者を”テンバガー・ハンター”といいます。元祖”テンバガー・ハンター”として著名なピーター・リンチの愛弟子であり、現在にその匠の技を引き継ぐ直系こそ、当ファンドの運用担当者 ジョエル・ティリングハスト**で、”テンバガー・ハンター”の系譜は、フィデリティの若い世代にも継承されています。

テンバガー(10倍株)の原石を発掘する投資哲学

- 1 感情的になり、勘にしたがって投資をしてはならない。
忍耐強く、合理的に投資をしなければならない。
- 2 流行に左右されず、独自の製品や特別なサービス、健全な財務を備えた強い事業に投資をしなければならない。
- 3 華やかで最新の話題性を持つ銘柄は価格が過大であることが多い。
割安な銘柄に投資をしなければならない。

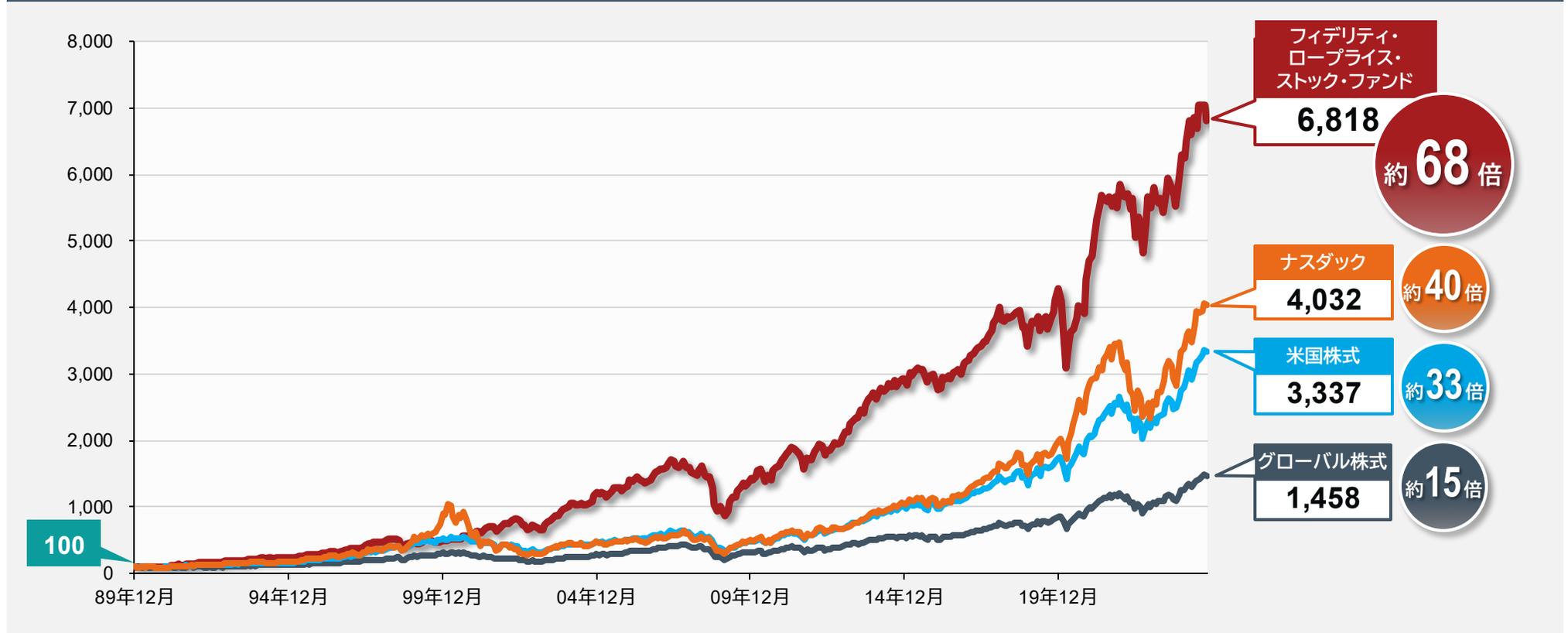
(注) 2024年10月末時点。 **ティリングハストは2023年末を以って、運用の第一線を退き、2024年初からシニアアドバイザーに就任。

*当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。

長期での優れた運用実績

- ◆ 参考ファンドは約35年の運用で、約68倍のリターン実績となりました。
- ◆ グローバル株式、米国株式に加え、テクノロジー株式を多く含むナスダックを大きく上回っています。

「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」(参考ファンド)、グローバル株式、米国株式、ナスダックの推移



(注)FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。米ドルベース。期初を100として指数化。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。期間は設定日(1989年12月27日)~2024年10月末の月次データ。

※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

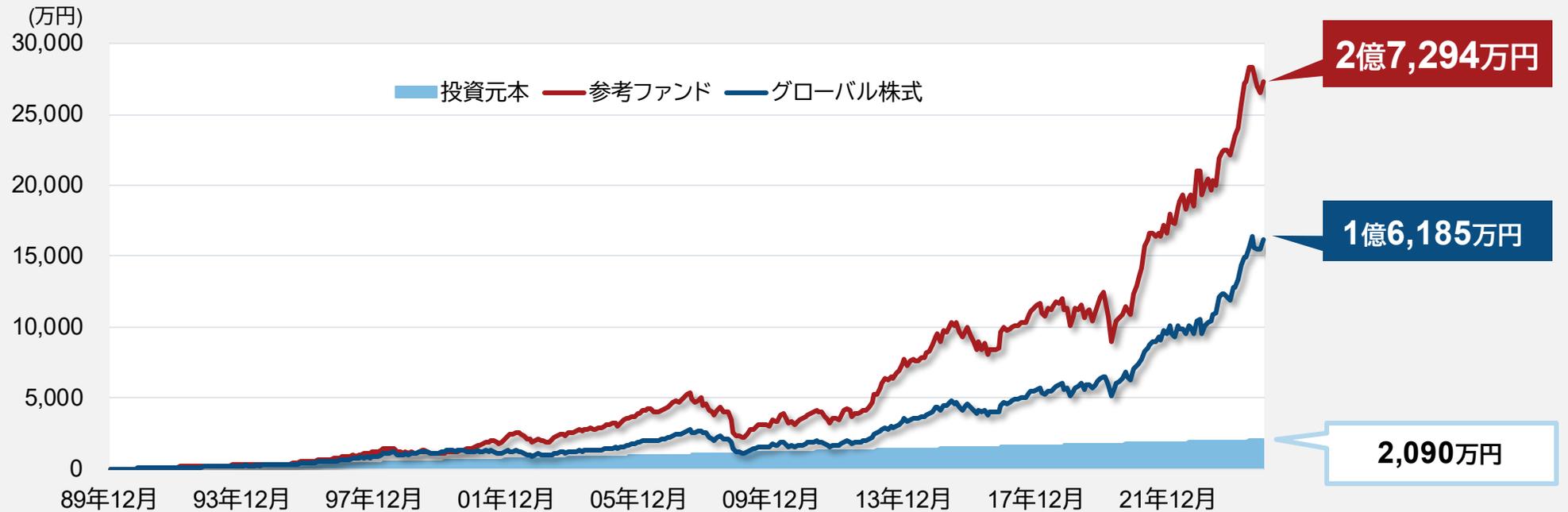
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

積立投資の効果①

- ◆ 参考ファンドで毎月5万円の積立を約35年間行くと、最終金額は2億円を上回りました。
- ◆ 短期的な動きに惑わされず、コツコツと長期間にわたり、積立投資を行うことがポイントです。

「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

毎月5万円を約35年間投資した場合の参考ファンド・グローバル株式・投資元本の推移



計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は、参考ファンドの信託報酬率(年率0.89%)を加算、「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。
- ・ 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。
- ・ 2024年10月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注)FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。計算期間は1989年12月末～2024年10月末。円ベース。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)。千円以下は四捨五入した金額を表示。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

積立投資の効果②

- ◆ 積立投資によってリスクを時間分散し、大きな下落に伴う損失を抑制することが可能です。
- ◆ 金融危機直前から投資した場合、積立投資は一括投資よりも早くプラスリターンに回復しました。

【金融危機直前から10年間参考ファンドに投資した場合(当初一括、積立)】

【当初一括投資】2007年10月末に600万円を一括投資



【積立投資】2007年10月末から毎月5万円ずつ積立(合計600万円)



計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は、参考ファンドの信託報酬率(年率0.89%)を加算、「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。
- ・ 積立は2007年10月末から毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。
- ・ 2017年10月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。計算期間は2007年10月末～2017年10月末。円ベース。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

コツコツ長期で将来への備え

- ◆ 毎月の積立額と積立期間の違いによる過去の運用成果は以下のようになりました。
- ◆ 積立額が大きく、長期になるほど、将来への大きな備えにつながります。

金額別、期間別の参考ファンドによる積立投資の運用成果の試算(カッコ内は元本総額)

毎月の積立額	5年間 (2019年10月末～)	10年間 (2014年10月末～)	20年間 (2004年10月末～)	30年間 (1994年10月末～)
5万円	490万円 (元本300万円)	1,277万円 (元本600万円)	4,927万円 (元本1,200万円)	1億4,722万円 (元本1,800万円)
10万円	980万円 (元本600万円)	2,554万円 (元本1,200万円)	9,854万円 (元本2,400万円)	2億9,444万円 (元本3,600万円)
20万円	1,960万円 (元本1,200万円)	5,107万円 (元本2,400万円)	1億9,707万円 (元本4,800万円)	5億8,888万円 (元本7,200万円)
100万円	9,798万円 (元本6,000万円)	2億5,537万円 (元本1億2,000万円)	9億8,537万円 (元本2億4,000万円)	29億4,438万円 (元本3億6,000万円)

計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は、参考ファンドの信託報酬率(年率0.89%)を加算、「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。
- ・ 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。
- ・ 2024年10月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

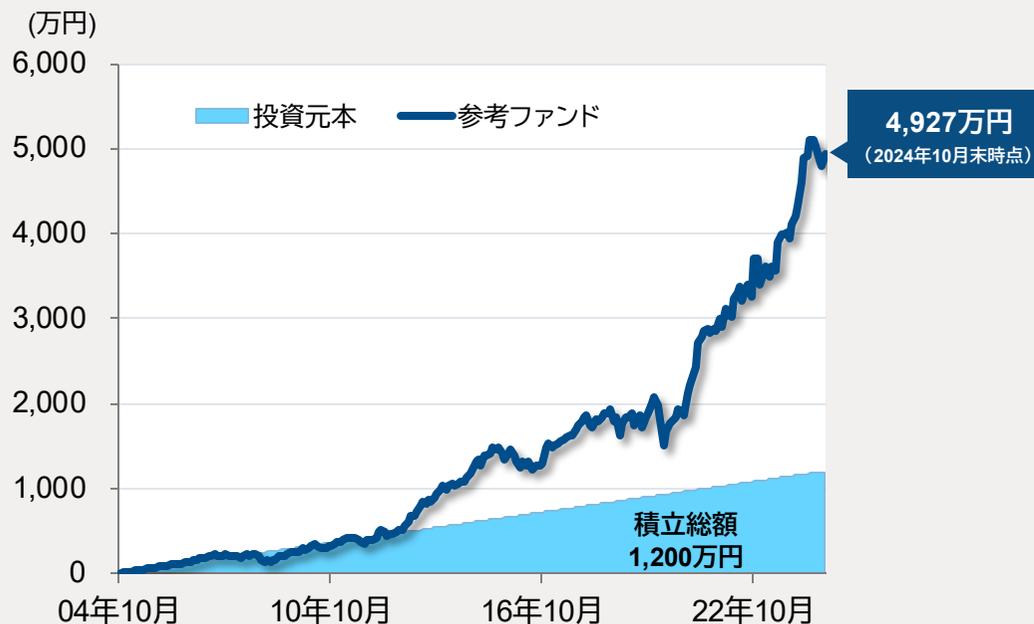
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

(ご参考)コツコツ長期積立で将来への備え(参考ファンドによる試算)①

「フィデリティ・世界割安成長株投信」の参考ファンドによる積立投資のシミュレーション

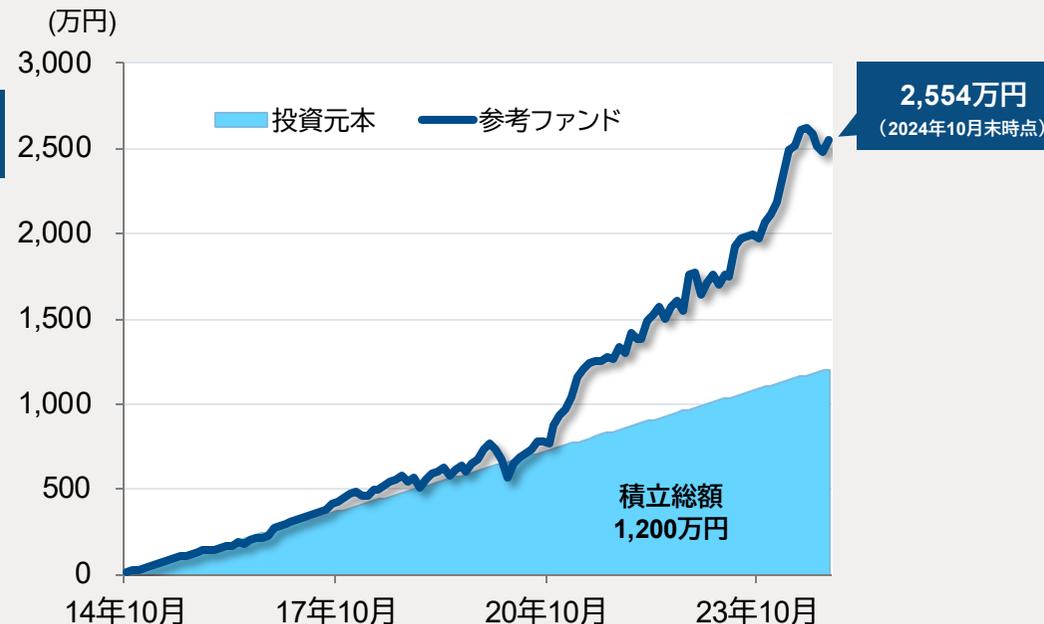
【毎月5万円を20年間積立投資をした場合】

期間: 2004年10月末～2024年10月末、月次



【毎月10万円を10年間積立投資をした場合】

期間: 2014年10月末～2024年10月末、月次



計算の前提

- 参考ファンドの実績は、参考ファンドの信託報酬率(年率0.89%)を加算、「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。
- 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。
- 2024年10月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

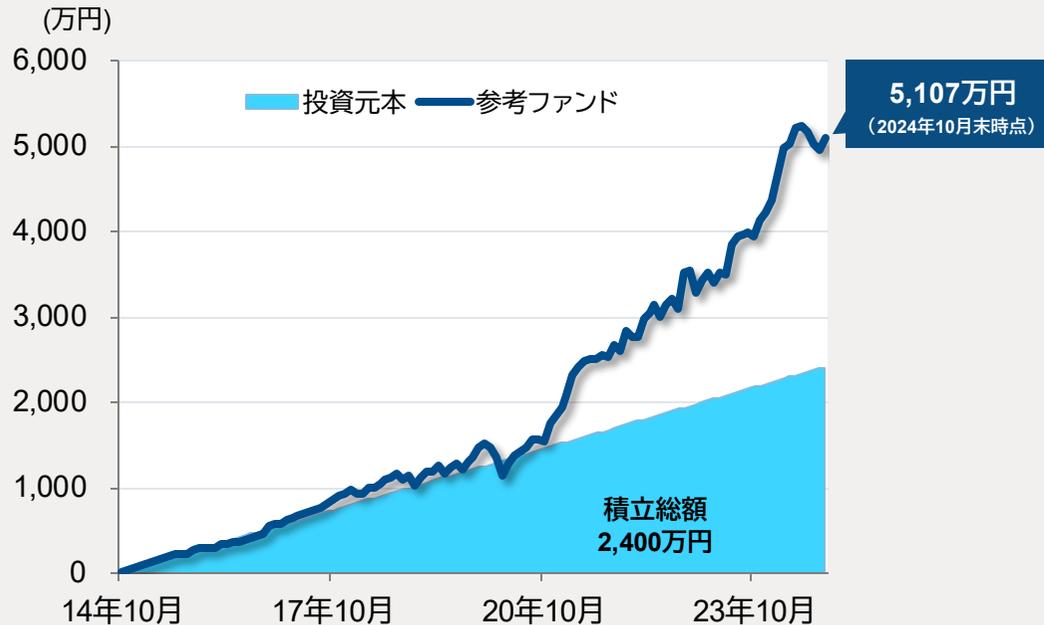
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

(ご参考)コツコツ長期積立で将来への備え(参考ファンドによる試算)②

「フィデリティ・世界割安成長株投信」の参考ファンドによる積立投資のシミュレーション

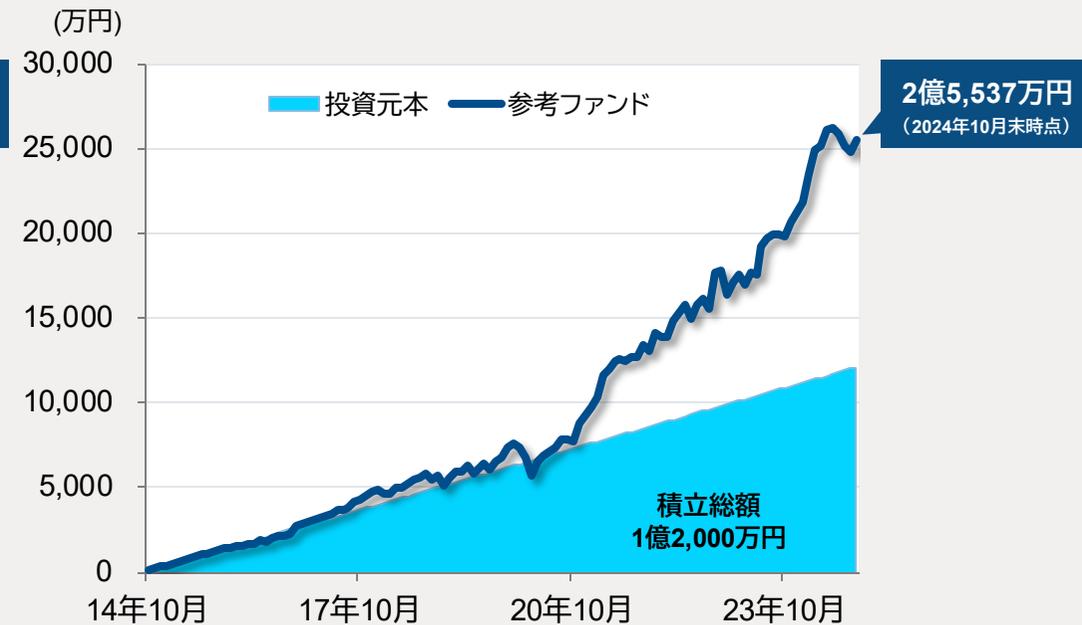
【毎月20万円を10年間積立投資をした場合】

期間：2014年10月末～2024年10月末、月次



【毎月100万円を10年間積立投資をした場合】

期間：2014年10月末～2024年10月末、月次



計算の前提

- 参考ファンドの実績は、参考ファンドの信託報酬率(年率0.89%)を加算、「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。
- 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。
- 2024年10月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

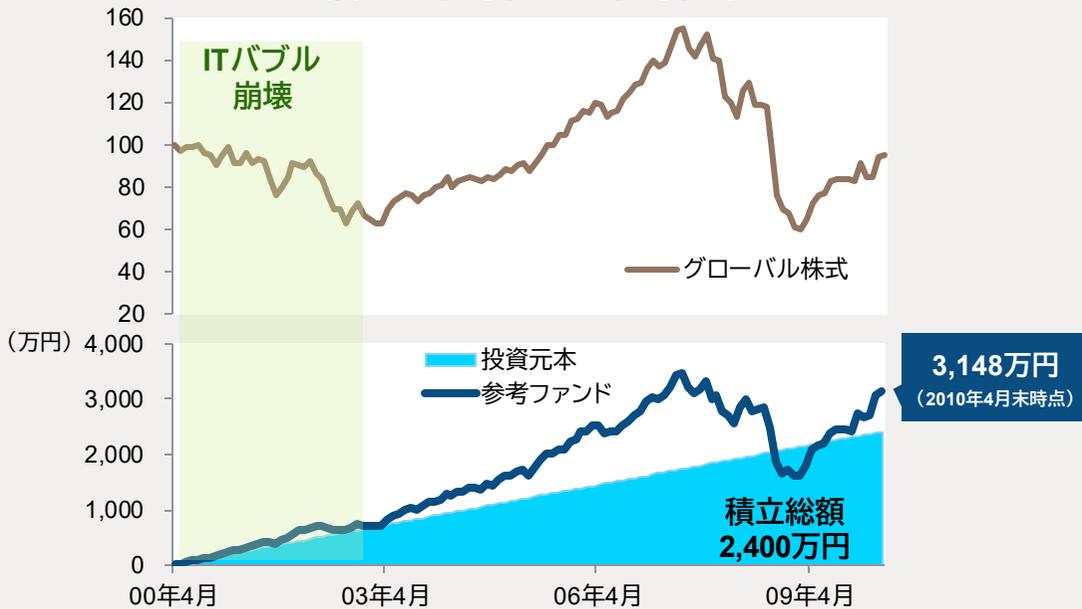
(ご参考)コツコツ長期積立で将来への備え(参考ファンドによる試算)③

◆ 過去の大きな下落局面前、最高値で投資を開始した場合でも、積立総額を上回る収益を得る事が出来ました。

「フィデリティ・世界割安成長株投信」の参考ファンドに毎月20万円を10年間積立投資をした場合のシミュレーション

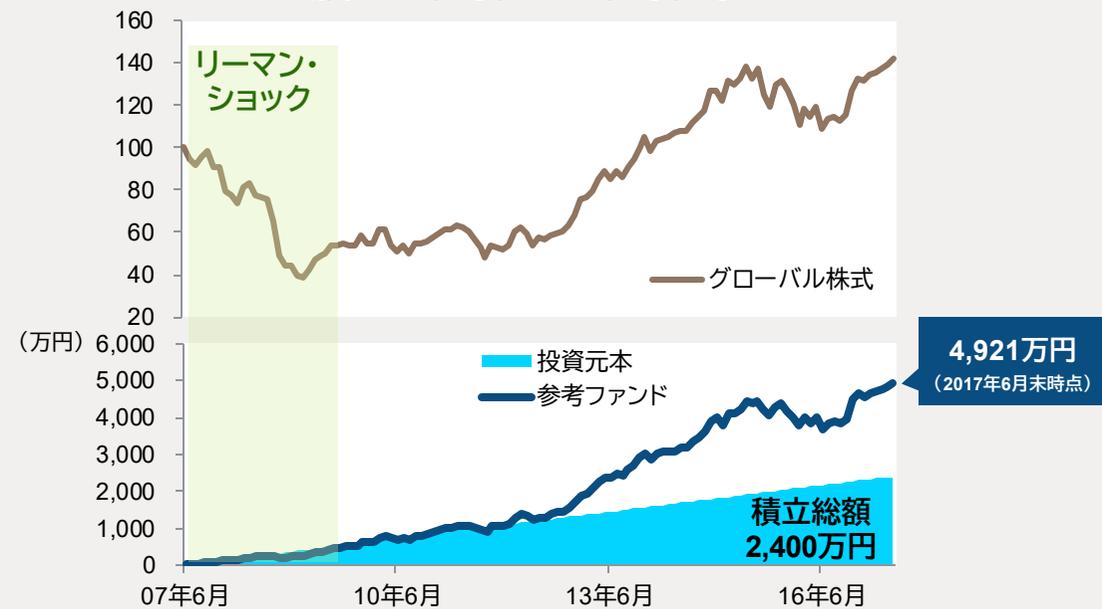
ITバブル崩壊前、最高値で投資を開始した場合

期間: 2000年4月末～2010年4月末、月次



リーマン・ショック前、最高値で投資を開始した場合

期間: 2007年6月末～2017年6月末、月次



計算の前提

- 参考ファンドの実績は、参考ファンドの信託報酬率(年率0.89%)を加算、「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮せず。
- 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末には積立を行わない。
- 積立期間の毎月末に積立を行うと仮定し、各運用期間の終了月までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注) FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。円ベース。上: グローバル株式はMSCIワールドインデックス(税引前配当込み)。期初を100として指数化。下: 千円以下は四捨五入した金額を表示。ITバブル崩壊、リーマン・ショックの開始時期は、グローバル株式(円ベース)の危機前高値で設定しています。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。



ファンドの特色

- 1 フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 2 企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用を目指します。
- 3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ*」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。
*ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 5 Aコース(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
Bコース(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。
- 6 マザーファンドの運用にあたっては、FIAMLLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。



投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。**

したがって、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。**

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

Aコース(為替ヘッジあり)は為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行なわないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

デリバティブ(派生商品)に関する留意点

ファンドは、ヘッジ目的の場合等に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。

ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

ファンドに係る費用・税金

購入時手数料	お申込み金総額に応じた下記の手数料率
	1億円未満…………… 3.30%(税抜3.00%)
	1億円以上5億円未満…………… 1.65%(税抜1.50%)
	5億円以上10億円未満…………… 0.825%(税抜0.75%)
	10億円以上…………… 0.55%(税抜0.50%)
	※スイッチング手数料はかかりません。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 ※別に定める場合はこの限りではありません。
換金時手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し 年率1.65%(税抜1.50%)
その他費用・手数料	・組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。(運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません) ・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより支払われます。(ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします。)
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。
信託財産留保額	ありません。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。

※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	原則として無期限(2020年3月23日設定)
収益分配	毎年2月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
購入単位	1万円以上1円単位 ※投信自動積立の場合は1万円以上1千円単位、スイッチングの場合は1円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	1円以上1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
スイッチング	Aコース、Bコース間にてスイッチングが可能です。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
運用の委託先	FIAM LLC(所在地:米国)
販売会社	株式会社三井住友銀行

【投資信託に関する留意点】

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 投資信託のご購入、換金にあたっては各種手数料等（購入時手数料、換金時手数料、信託財産留保額等）が必要です。また、これらの手数料等とは別に信託報酬と監査報酬、有価証券売買手数料等その他費用等を毎年、信託財産を通じてご負担いただきます。お客さまにご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となります。
- これらの手数料等は各投資信託およびその通貨・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は、目論見書・販売用資料等でご確認ください。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。



ご注意点

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客さまご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客さまご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

IM241112-1 CSIS241125-3